

松前町

議会だより

No.94

2017年8月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

6月定例会



- 2P 6月定例議会 南黒田工業団地・・・
4P 委員会ニュース
5P 庁舎の駐車場不足解消に向け・・・他
8P 見て、聞いて、感じたことはすぐに実行
9P 町有施設にLED照明の全面導入は 他
10P 一般質問
11P 6人の議員が一般質問
12P 「これも気になる一般質問」他
16P

松前町女性消防団
～職員さん向けの救急救命講習から～
(エミフルにて、関連記事は18ページに)

こんなことが決まりました

6月定例議会は、6月13日から14日間の会期で開かれました。
審議内容の主なものは以下のとおりです。

(特に本会議場で議論になった項目を中心に明記しています)

★南黒田工業団地の 造成計画を早めに

報告第4号

平成28事業年度松前町土地開発公社収支決算の報告

〈収益的収入及び支出〉
収入 1万2727円
支出 4万6958円
資料については、
閲覧可能

問 南黒田工業団地の進捗状況は

答 平成28年度から伊予市や県との協議や団地住民代表者への説明会を再開している。今後は伊予市と道路計画など進めた上で伊予市の周辺地域の説明会を重ねていく。



望まれる。
1日でも早い企業誘致が

★平成29年度6月補正予算

一般会計 3億2107万7千円 増額
特別会計 563万6千円 増額

報告2件、予算関係6件、他議決を求めるもの20件、合わせて28件の議案が提出され、各常任委員会に付託。

本議会場においても十分な議論を経て、全案件を全員一致または賛成多数で可決した。

(詳細はP4~6に)

※松前町ホームページでも、補正予算の詳細を説明しています。

★請願1件

請願1件を総務産建常任委員会に付託。十分な議論を行い本会議において、賛成少数で不採択に決した。

(詳細はP6に)

★松前町農業委員会委員の任命

・農業委員会委員の任期満了に伴い後任の委員の任命について議会の同意を求めるもの。

・本議会において14名の委員の任命に同意した。

(詳細はP7に)



6月定例議会

提出議案等への各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 △議長

報告・議案等番号、内容		議員名	住田	田中	金澤	影岡	稲田	城村	村井	藤岡	加藤	八束	岡井	早瀬	三好	伊賀
			英次	周作	浩	俊範	輝宏	トキ子	慶太郎	緑	博徳	正	馨一郎	武臣	勝利	上明治
報 3	平成28年度松前町繰越明許費繰越計算書の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報 4	平成28事業年度松前町土地開発公社収支決算の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
請 2	日本政府が、核兵器禁止条約を交渉する国連会議に参加し、「核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結」を求める立場で行動することを求める意見書提出についての請願	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	△	●	○	●
21	専決処分の承認を求める(松前町税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
22	専決処分の承認を求める(松前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
23	松前町執行機関の附属機関設置条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
24	松前町公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
25	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
26~ 39	松前町農業委員会の委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
40	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
41	平成29年度松前町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	△	○	●	○
42	平成29年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
43	平成29年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
44	平成29年度松前町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
45	平成29年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
46	平成29年度松前町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

予算決算

委員会
ニュース

会計当初予算

なるか？庁舎の
駐車場不足の解決に！

宝くじ事業の
選考は公正公平に！

問 橋梁長寿命化修繕の
道路橋の点検方法と人
数は。

問 旧保健センターを解
体し、駐車場整備後、
何台分の駐車を確保で
きるのか。また、完成
時期は。

答 設計前なので何台分
駐車可能スペースを確
保できるか不明だが、
20台前後の駐車を見込
んでいる。

問 正規職員と非正規職
員との賃金格差は正に
向けての取り組みは。

答 格差を解消するた
め、平成29年度から処
遇改善や見直しを行っ
ている。

問 コミュニティ助成
(宝くじ)事業の選考方
法は。また、今年の状
況は。あわせて今後も
事業は継続していくの
か。

答 ○前年度9月頃に全区長
に対し要望調査を行
う。
○出てきた要望に町の基
準で優先順位を付け、
自治総合センターに提
出する。

答 点検は近接目視で点
検しており、1橋あた
り3名程度で実施して
いる。

問 松前町ホッケー公園
施設管理の備品購入費
は全額町負担になるの
か。

答 国体開催中は国体推
進課が備品管理を運営
委託するため国体期間
中は使用しない。
国体終了後のホッ
ケー大会、多目的での
軟式野球やソフトボー
ルの大会に対しての備
品購入なので全額町負
担になる。

また、来年度当初予
算に解体及び駐車場整
備費を計上、来年末を
目途に整備できるよう
対応したい。

意見

費用対効果も考え、災
害にも対応できる立体駐
車場整備などの中長期的
な視野のプランを駐車場
不足解消に向けて検討す
べき。



旧保健センター

意見

町の優先順位の基準
を、全国的な基準に合わ
せていく必要がある。
また、宝くじによる補
助がなくなった場合の、
コミュニティ助成の考え
方を示すべきでは。

平成29年度 一般・特別

**町道西古泉筒井線
全線開通の時期が
判断出来ない状況に！**

問 町道西古泉筒井線の全線開通の時期は。

答 西古泉筒井線整備に着手した平成25年度には、国費の要望額に対してほぼ満額の財政支援がされていた。

しかし、今年度は要望額に対し15%の交付率となっており、今後とも、回復する見通しがないため、事業完成の時期は未定である。

問 住民の皆さんも全線開通を心待ちにしており、状況を町民に知らせるのか。

答 状況に動きがあれば議会へ報告をする。また、住民の方が不安に思っておられるようなら、周知していく。

意見

本線工事の見通しがたないのに、踏切移設工事とラウンドアバウト交差点工事をこの時期に行うのは、効率よい予算活用とは言えない。

道路完成の見通しにあわせ、予算案を起案すれば、町民の利益を損なうことなく、今必要な事業に対し、優先的に予算を使うことが出来るのでは。(限られた予算の有効活用)

問 町道西古泉筒井線整備の伊予鉄道の踏切移設工事は、伊予鉄道の積算額を計上しているが適正なのか。

答 公共事業において実施主体から、鉄道事業者に委託して実施する工事は、その透明性確保の徹底に関し、申し合わせを行っている。よって、町が伊予鉄に工事委託するときは、申し合わせに基づき鉄道事業者が提出する書類をチェックすることになる。



工事は順調に進んでいるのだが？

平成29年度一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	97億1210万	3億2108万	100億 3318万	3.3%
前年度	99億1224万	3億9162万	103億 387万	4.0%

■松前町一般会計補正予算(第1号)主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
総務費	旧保健センター解体及び駐車場整備事業	121万
民生費	保育所一般管理事業	189万
農林水産業費	土地改良事業	2750万
土木費	橋梁長寿命化修繕事業	2150万
	一般町道等整備事業	7220万
	幹線町道等整備事業	8131万
	JR車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業	3200万
教育費	松前公園施設管理事業	2900万

総務 産業建設

⑳ 松前町執行機関の附属機関設置条例

要旨

当町では計画策定や個別課題の解決策を練り上げる際、条例ではなく、要綱等で外部の有識者等で組織する機関を設置していた。この機関を執行機関の附属機関として位置付けるため条例化するものである。

問

条例で秘密保持を規定しているが、付属機関の委員は保守義務の契約をするのか

答

個々に契約を結ばず条例内で構成員の秘密保持と保守義務の規定を設け遵守してもらう。

問

守秘義務違反に対する罰則規定は

答

地方公務員法第60条の罰則規定を準用。



松前公園も・・・

公の施設の指定管理者も 附属機関として条例設置を

問

職を辞めた後でも、わかりやすいように秘密保持の範囲について明記する必要があるのではないか。

答

この条例は付属機関の設置に関する規定である。

第4条で組織及び運営に関して必要な事項は、付属機関が属する執行機関が定めると規定しているので必要はない。
(全員一致で可決)

㉑ 松前町公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例の一部を改正する条例

要旨

要綱で設置していた(松前町公の施設指定管理者応募団体評価委員会)を地方自治法に規定する付属機関として条例設置するために条例改正するものである。

審議

損害賠償の免除(特別な事情)についての範囲の規定は。

答

指定管理者の損害賠償義務についての項目であるから、詳細な範囲は条例では明記せずその個々の状況で判断する。

問

第2条で町長に教育委員会を加えた理由

答

松前公園やホッケー公園の管理事務は、実質教育委員会の事務を補助する職員に執行させているため、文言の見直しの中で明記したものである。
(全員一致で可決)

㉒ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

要旨

人事院規則の改正主旨に基づき、育児休業の再度取得や育児休業期間の再度の延長ができるように条例の一部改正をする。
(全員一致で可決)

審議

第70回国連総会決議で「核兵器の人道上の帰結」が採択された今、核兵器の使用も拡散も禁止する「核兵器全面禁止・廃絶国際条約」締結の交渉が進み核保有国を含む大多数の国が賛同するよう戦争被爆国の政府として行動するよう国に意見書の提出を求めるものだ

要旨

「核不拡散条約を推進している国」と「核保有国が不参加の核兵器禁止条約の交渉国」との関係に亀裂が生じ、今後の核不拡散条約の進展を阻む懸念がある

◎ 請願者

二〇一七年原水爆禁止国民平和大行進 四国コース愛媛県

実行委員会

実行委員長 今井 正夫
紹介議員 金澤 浩

・ 目的を一本に絞っての請願で、わかりやすい
・ 世界の多くの国がこの条約の締結を望んでいる中で、被爆国として行動すべきとの意見書提出に賛成
・ 趣旨には賛同できるが意見書提出は必要なし
・ 世界的流れが判然としない今は時期尚早
(賛成少数で不採択)

条例改正

報告第3号

平成28年度松前町繰越
明許費繰越計算書の報
告

・繰越額 一般会計

1億8759万
8千円

公共下水道事業会計
4千95万円

報告第4号

平成28事業年度松前町
土地開発公社収支決算
の報告

内容について、議員よ
り質疑あり。

詳細はP2に記載。

専決処分
(条例改正等)

②1 地方税及び航空機燃
料譲与税法の一部を改
正する法律が公布され
たことに伴い、松前町
税条例の一部を改正す
る。

〈改正の主なもの〉

◎ 軽自動車税における
グリーン化特例につ
いて、適用期限を2
年延長など

※専決処分とは。
地方自治法の規定に
基づき、特定の事項を
長が議会に代わって処
理すること。

②2 国民健康保険法施行
令の一部を改正する政
令が公布されたことに
伴い、松前町国民健康
保険税条例の一部を改
正する。

〈改正の内容〉

◎ 国民健康保険税の減額
の対象となる所得基準
の引き上げ

〈5割軽減〉

(現行)軽減基準額〓基
礎排除額(33万円) +
26.5万円×(被保
険者数+特定同一世帯
所属者数

←

(改正後)軽減基準値〓
基礎排除額(33万円) +
27万円×被保険者数 +
特定同一世帯所属者数
〈2割軽減〉

(現行)軽減基準額〓基
礎排除額(33万円) +
48万円

←

(改正後)軽減基準額〓
基礎排除額(33万円) +
49万円

←

(全員一致で可決)

(全員一致で可決)

補正予算

④3 平成29年度松前町
後期高齢者医療特別会
計補正予算

補正額
△ 84万4千円

補正後の額
25億5546万4千円

(全員一致で可決)

④5 平成29年度松前町
公共下水道事業特別会
計補正予算

補正額
51万2千円

補正後の額
6億4570万9千円

(全員一致で可決)

人事案件

松前町農業委員会の任命

②6 池内 直人氏(57)

鶴吉

②7 三好 充氏(77)

東古泉

②8 大西 薫一氏(62)

上高柳

②9 住田 公則氏(63)

南黒田

③0 大川 助俊氏(77)

北川原

③1 篠崎 保氏(64)

横田

③2 常盤 尚徳氏(79)

西古泉

③3 中村 清則氏(69)

中川原

③4 喜安 英男氏(67)

昌農内

③5 伊藤 彰秀氏(64)

徳丸

③6 神野 尊久氏(74)

出作

③7 大政 浩史氏(56)

恵久美

③8 久津那良一氏(63)

鶴吉

③9 鳥越 英子氏(75)

浜

②6～③9全員一致で同意

④0 人権擁護委員候補者
の推薦について
任期満了に伴う委員の
再任について議会の同
意を求める。

武智和孝氏(西古泉)
の再任を全員一致で同
意。



議会広報 常任委員会



見て、聞いて、感じたことは
すぐに実行



7月5日、名古屋都市圏内の岡崎市に近い幸田町に広報委員他7名で訪問

愛知県は広報編集のレベルが高く県内クリニックで腕を磨いている先進地でもある。

7年前にも研修に来ているが、当時に比べて今の松前町議会だよりは、どうなんだろっ。

事前を送付した93号の気になる点の指摘は、翌日の東京でのクリニックと共通するところが多かった。

★以下すぐに取り組みを
うごこせ！
◆見出しは14文字以内で
インパクトのある表現
を

◆次回開催の定例議会の
日程を記載し、議会への
関心をひく

◆ブルー色は避けなるべく
暖色使いを

◆インデックスの採用

◆一般質問ページも本文
を問答形式に（一問一
答のリアル感）



研修後、みんなでパチリ。(幸田町議場にて)

★ページをめくってみたい
広報誌を作るには・・・

7月6日、東京都全国町村議員会館に西日本の議会広報編集委員約100名が集合

講師の芳野政明氏から
広報のイロハを聞く。

議会広報は、議事公開から行政監視、政策提案の議会の諸活動を伝え、住民とのコミュニケーションの役割を担うもの。



★事前送付の7町村の議会だよりがクリニックの
洗礼に：
松前町議会だより
93号から

◆表紙の人物にコンテンツがかぶって読みにくい。上の空間処理をうまくすれば解決する。

◆当初予算の見出しやタイトル付け方に工夫を。数字は小さくし、行

政広報との違いを明確に。

◆一般質問のタイトルは短く。インパクトを強く。

◆研修報告は、見出しやリードの使いようでもっと読みやすくできる。

◆傍聴席、町民の声、まちの話など住民を巻き込んだ企画はとても良い。賛否表の内容に工夫を。

そこが行政広報とは異なる点だ。
特に予算、決算の情報
の出し方は、その視点の
違いを明確に表現すべき
だ。
・講師のチェックポイント
は、「読者をひき付け、
わかりやすく読みやすい
か」



まだまだ努力す
べきところが
いっぱい。

次への目標に向けて
がんばる決意を固めた。

7月7日、臨海広域防
災公園防災センターを
視察。大地震の疑似体験
を。



6議員が登場

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

◆緑字項目は、一部別頁で紹介。

村井 慶太郎 議員(10ページ)

- ◆節約できる電力会社の導入は
- ◆町有施設にLED照明の全面導入は

藤岡 緑 議員(11ページ)

- ◆自主防災会の充実に町の支援を
- ◆国体に、おもてなしや観光アピールは
- ◆住民サービスのミスに対して町は

影岡 俊範 議員(12ページ)

- ◆災害時の安全網としてのシステムは
- ◆防犯灯の管理およびLED化は
- ◆お迎え付き病児保育の内容詳細は

住田 英次 議員(13ページ)

- ◆町道西古泉筒井線沿線の活性化は
- ◆本町の技術職員の状況は
- ◆機能別消防団員制度の導入は



金澤 浩 議員(14ページ)

- ◆公の事業廃止の事務処理は適正か
 - ・二名保育所を民営化するのか
 - ・町民の疑問の声をどう考えるか
 - ・公平公正な事務処理か

加藤 博徳 議員(15ページ)

- ◆町道西古泉筒井線の進捗は
- ◆公共施設等総合管理計画は
- ◆落札率100%、異常では
- ◆JR北伊予駅自由通路の改廃再認定は

一般質問とは・

- 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
- (行政側からの答弁の時間は含まれません)。
- 最初に全質問を行いその後各質問に対して担当者から町としての考えを聞きます。
- 更に回答内容について深くまた関連して質問する場合は再質問できます。
- 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。
- 詳細については、ホームページの議事録をご覧ください。
- 掲載できなかった質問の答えは一部16ページに



「松前公園体育館アリーナの照明もLED化すれば・・・」



村井 慶太郎 議員

節約できる新電力会社の導入は

競争入札の導入も検討

問

本町は愛媛県でもトツブクラスの納税率である。町民のために税金を一元でも節減でき、適切に使っていただきたいと、日々調査している。

そこで、電力の自由化が昨今話題になっているが、庁舎や学校などの関係施設を、より節約できる電力会社へ変更する考えは。

町長

電力の小売自由化は、昨年4月に完全自由化となった。松山市立中学校では、年間約6%の電気料金が削減されているという実績もある。

近隣の自治体では、松山市立中学校が平成25年7月から、愛媛県中予地方局が平成28年1月から競争入札による契約の導入に踏み切っている。こうした経緯や近隣の実績を踏まえ、町有施設の電力需給契約について、新電力事業者を含めた競争入札による契約の導入に向けて、研究を進めていきたい。

町有施設にLED照明の全面導入は

順次全面LED化の方向で検討

問

コスト削減に向け、庁舎及び関係施設全体のLED化の考えは。

町長

LED照明の全面導入についてコストを試算して見たところ、導入から数年間で蛍光灯よりコスト削減になることが分かり、新設の施設は、全面LED照明を導入している。

今後は、既存の施設についても、順次全面LED化を進めていく方向で検討していく。



藤岡 緑 議員



ダンボール間仕切りでプライバシー確保を

自主防災会の充実に、町の支援を

地域防災力が要^{かなめ}

問

地域防災力アップのため町がどこまで支援できるのか。

町長

- ① 町内に9か所の指定避難所がある。昨年町の総合防災訓練で筒井、宗原地区の合同訓練をした。今後もモデル的な合同避難所運営訓練を実施し、自主防の役員や防災士に住民役として参加してもらう取り組みの計画もある。
- ② 防災士がスキルを活かしながら、地域防災力向上に積極的参画できるように働きかけたい。
- ③ 名簿作成については、法律的な根拠がないため、個人情報など住民個々の理解の下、収集し、防災に活かしてほしい。

国体にもおもてなしや観光アピールは

町の魅力を全国に発信しよう準備中

問

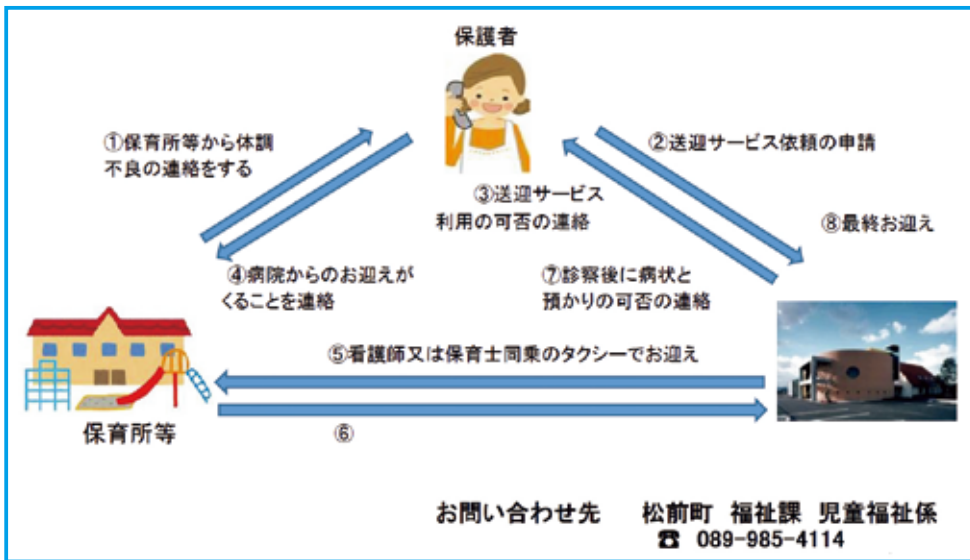
国体は全国から集まる人々に町を知ってもらうチャンスとなるおもてなしや観光面の充実に向け、町民との協働の準備が必要では。

副町長

- 競技会場の最寄り駅に案内所の設置、周辺道路には花プランター、歓迎のほり旗、でお迎え。訪れた方々と町民の交流の場に町の特産品の無料提
- 供を。町民ボランティアグループとの協働による周遊観光パンフの配付や、レンタル自転車の設置の検討も始めた。



影岡 俊範 議員



「要援護者管理」・「被災者支援」両システムの導入は

有効だとは思いますが、研究を重ねていく

問 災害安全網の両システムの導入は

総務課長

要援護者管理システムは避難行動要支援者に関する台帳の検索、地図上から避難行動要支援者の検索・抽出を行うシステムで「被災者支援システム」と連携することで、

避難行動要支援者の被災状況の把握が可能となる。

被災者支援システムは

住民基本台帳を基盤にして「被災者台帳」、「被災者家屋台帳」の2つで構成されており、被災者の状況や家屋被害状況を記録、更新する。両システムを連携する

ことで、避難行動要支援者を含む被災状況の把握が速やかにまた安全に行える。

災害時においては、有効なシステムであるが、システム導入に当たっては、今後先進事例等の状況も把握しながら、研究を重ねていきたい。

IT能力のある職員が必要ということではない。
導入費用も20万、50万円であり初期投資及びランニングコストも高額とならない。
導入に向けて積極的に取り組んでほしい。

安心・安全な防犯灯のLED化は

現地調査を実施、整備拡充に努める

問

防犯灯のLED化は
①町管理灯本数
(内LED本数)
②電気代の設定方法
③環境省の「地域におけるLED照明導入促進事業」の活用は

産業建設部長

①町管理灯本数
1957本、
(内LED 665本)
②蛍光灯 300円
LED 150円
電気代負担は、
大字負担 1080本
町負担 877本

時にLEDに変更している、今後も同様の方法で拡充を努めます。

③昨年度の町政懇談会や女性会議で「街灯が少なく暗いところがある」「街灯を増やして欲しい」といった意見があり、今年度、現地調査を実施し、防犯灯を整備することになっている。

これまでも防犯灯の新設時や既設灯具の更新

駅に通じる公共施設に準じるものは町負担とするべきであり、最優先でLED化して大字負担を軽減することが必要ではないか。

その際には同事業の活用が可能かどうかについて検討したい。



住田 英次 議員



松前のメインストリートになるかな・・・

町道西古泉筒井線沿道の活性化は

将来は松前のメインストリートに

問

大型商業施設の出店後、町内の商業者はますます疲弊してきていると痛感する。

現在事業の進んでいる『町道西古泉筒井線』の沿線に町として町内の商業の活性化策は。

町長

この道路はエミフルM A S A K I に直結する道路であり、その沿線は相乗効果で町の活性化の中心となる道路だと考え、将来的には松前のメインストリートとしたい。しかし、農地であることから都市計画や農地法の規制があり開発は難しい。町の土地利用のあり方の検討と併せて松前農業振興地域整備計画の見直しを目指し、基礎調査を実施していきたい。

本町の技術職員の状況は

将来的には職員の不足が懸念される

問

『松前町公共施設等管理計画』が策定されインフラの長寿命化対策に本町も取り組んでいる。他の自治体では技術職員の不足が懸念されているが本町の現状や対策は。

副町長

土木・技術職員の不足は全国的な傾向であり、特に東日本や熊本の大震災復興関連で不足している。本町の現状では不都合なく各業務を実施しているが、公共施設等総合管理計画の実施によるインフラの長寿命化など業務が増加し技術職員の不足が顕在化すると考えられる。そこで今後は新規採用や、現状の技術職員と技術系職員のスキルアップを図ると共に専門家の意見を参考に点検や診断の精度向上を図りたい。



金澤 浩 議員



子どもたちを共に眺めることで、社会に絆（きずな）が生まれる！

公の事業廃止の事務処理は、適正か？

二名保育所は、閉園にするが、民営化はしない。

二名保育所の耐震性不足や、私立青葉幼稚園の事業拡張（認定こども園への移行の計画）などを理由に、町が、二名保育所を閉園しようとしている事に関し3月議会に続き正した。

問 3月議会で、「町と民間保育園との連携による統合だ」と答弁があったが、町立二名保育所の廃止を理由に、民営化するのではないのか。

答 保健福祉部長

青葉幼稚園の自主的事業拡張の計画だ。青葉幼稚園の認定こども園利用は、保護者の選択に委ねられるものであり、二名保育所の園児を一括転園させるわけではないため、民営化ではない。

問 平成二十五年三月に廃園にした町立若葉保育

問 3月議会で「町の部」と理事者だけで閉園を決定した。保護者には今後の説明で納得して頂く。」と答弁があった。これに対し「利用者の意見などを先に聞くべきだ。事務処理の順序が逆だ。上からの目線ではないのか」など、多くの町民から疑問の声を聞いている。この声をどう考えるか。

答 保健福祉部長

3月議会の一一般質問で閉園が公になり、結果として利用者への説明が後になっただけだ。手順については問題ないと認識している。

問 町民第一の視点に立つなら経費の問題だけでなく、事前に、保護者や子ども達の不安要素や要望などを吸い上げ、民主的に町の方向性を町民と共に判断すべきだ。町が廃止の方向と判断した過程がわかる議事録はあるのか。

答 町長

改まった会議の型式ではなく、非常にラフなスタイルでの自由な意見交換する協議なので、議事録は無い。

問 民営化でないから、公募はしない。これでは公平公正を損なうのでは

答 町長

私立青葉幼稚園は、松前町内の歴史ある学校法人だ。そこが保育事業を計画する中、どこの馬の骨とも言いませんが、よそから引っ張ってきて、青葉幼稚園をのけて、それを置くというようなことが、本当に正しい判断だろうか。

青葉幼稚園にお願いをするのが正しい判断だと思う。公平公正という話が出る以前の問題だ。

国会では国政の私物化、ゆがみが大きな問題だ。二名保育所の閉園に関して、町は公平公正な行政・政策決定の透明性確保に徹すべきだ。誰の目にもクリーンな町政にする為、今後更に正していく。



加藤 博徳 議員



西古泉筒井線

町道西古泉筒井線の進捗は

いつ完成するか未定

落札率100%、異常では

今は事前公表をやめている

問 事業が遅れているが進捗率と完成予定は。いつ完成するかわからない事業に、今できても使用できない、踏切、交差点の着工は資金の有効利用の点からもおかしいのではないか。

答 町づくり課長
進捗率は20%。今年度エミフル側の交差点、ラウンドアバウトの整備と伊予鉄郡中線筒井東踏切の移設工事の着手予定。完成予定は、国費が非常に少なくなっているため、いつ完成するか未定。

問 ① 予定価格と落札価格が同金額落札率100%の事例があったが、防止のため予定価格を事前公表してはどうか。
② 入札率100%はおかしい。町が見積金額の算出を出来ないのでは。

答 財政課技官
① 以前はくじ引きで落札する方式で問題があった。国から事前公表取りやめの要請があり従った。
② 数量的なものは、業者によって算出。単価入力職員が実施している。

公共施設等総合管理計画の具体的な取組は

多角的な施設評価と町民の意見を反映する

問 ① 今年の具体的な取組は。
② 毎年10億円程の改修費用が必要なのは。
③ 公共施設維持管理基金の積み立ても大切だが、傷みが小さい内に修繕すべきでは。

答 副町長
① 今年度は、旧保健センター(121万円)、宗意原保育所(48万6千円)、消防詰所(1771万2千円)の解体を予定している。今後は多角的施設評価を行い、町民の意見を反映させる。

施設の更新、統合や廃止、また民間活力の導入等運営の見直しなど、住民サービスの低下にならないように取り組む。
② 大きな工事を実施すれば10億円不足の年度もあるが、施設整備の予定がなければゼロの可能性

もある。
③ 各施設を点検し細かな部分が発見できるように、町全体で情報を共し、整理してそれに基づき、悪いところが見つければ順次修繕していく。

★これも気になる 一般質問

各ページに掲載
できなかった、
これだけは言いたい
事を集めて

Q 『機能別消防団員制度』の導入は

A 現在、ほぼ満たしているが、サラリーマン団員が増加し56%が町外に勤務し昼間の団員は少ない。

町の地域性に応じた設置を消防団と協議し、検討していきたい。

(住田議員の質問より)

Q お迎え付き病児保育サービスとは

A 子どもが学校などで、体調不良になった場合に、迎えにいけない保護者に代わり、病児保育施設の担当者が子どもを迎えに行き、施設に連れて帰るサービスを開始しました。

(影岡議員の質問より)



Q 住民サービスミスへの迅速、丁寧な対応は

A 該当者へのお詫びと迅速な是正、町民全体へは概要や再発防止策の報道発表をした。税金や保険料の徴収、還付には、丁寧な職員による総合チェック、システム改修には内部検証を強化し、信頼回復に努める。

(藤岡議員の質問より)

議会基本条例作業部会から

★条例施行後は、実践活動がしやすいように作業部会を2チームに分けて、規則などを作っていく段階に入った。

★メンバー6人が3人ずつのグループになり二つの優先課題に絞って研究し、一定の方向性を持って具体案を議長に提出する形で進めている。

★今、取り組んでいる課題は・・・

① 一問一答方式

一般質問などで町政上の論点や争点を明確にする議論のための方式。

●現在の方式(最初に通告書通り全部質問し、そのあと理事者の決めた順に応える)は、**当事者も町民にもわかりにくい**・再質問からは、完全に

一問一答になっている
★最初から一項目ごとに完全に分けるか、関連項目ごとの分割方式にするための調整中。

② 議会報告会

実施に向け、必要な基本事項は何か検討し、年度内開催に向け準備中。

◎9月議会には一定の結論が出て実践されるよう、文字通り汗をかいているところだ。

町民の声

便利で安全な 環境整備を

筒井 E・N

松前町に転居して17年。その間に、下水道整備、大型商業施設開業、片側2車線道路開通など、生活の利便性は急速に高まり、良い街に来たと心から感じていた。しかし最近、喜んでば

かりいられなくなってきた。周辺主要道路の渋滞が慢性化すると、それを避けようと住宅街小道に多くの車が流入し、危険な場面を目にすることが増えた。

徐行を呼びかける

【ゾーン30】表示はあるものの、小学生の通学列のすぐ横を猛スピードで走る車も少なくない。

まずはドライバーの思いやりの意識が必要であ

※ゾーン30とは。

自動車事故抑止のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する区域を指定し、その区域での車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制。

傍聴で頑張る気持ち
をもらおう！

昌農内 T・M

議会の第1回・第2回の定例会を傍聴させていただいた。町政全体に対する質問が、それぞれ担当部門の議員さんから行なわれた中で、私の関心のある観光行政についての町側の考え方の答弁が

あり、より耳を傾けた。

松前町が如何にすれば

元気になり、発展してい

けるのかを考えた末、打

ち出したのがエミフル+

a観光資源開発であり、

その為のアクションを起

こした。これには町の協

力が不可欠であり、それ

に対して前向きな答弁を

聞くことが出来、頑張ら

ねばと言う思いを新たに

することができて、傍聴し甲斐があった。

私たちの想いを受け止

め、質問していただいた

議員さんに感謝したい。

今後は、観光に限らず、

町政全体に対する関心を

深めていきたい。



傍聴席

百聞は一見に如かず

北黒田 I・N

議会の傍聴は何度か経験していますが、高齢化するにつれ、腰が重くなり、長らくご無沙汰してしまいました。この度、知人からのお誘いもあり町議会を傍聴する機会を得ました。

生で見る議会は、厳粛

の中にも熱気が感じと

れ、傍聴している私さえ

協議者の一員になったような錯覚を覚えました。

受付の際、資料として

いただいた通告書には、

協議する議題の件名や要

旨が詳細に記録してあ

り、登壇する六議員の町

政への意気込みや熱意を

感じました。質問する姿

勢にも毅然とした態度が

見られ好感が持てまし

た。

また、答弁する町職員

の皆さんも、数多くの質

問に分かりやすく、適切

に対応し、町政の活性化

を目指すにふさわしい意

義ある協議だったと思

います。

少し気になったのは傍

聴者数です。『議会だよ

り』の「傍聴席」欄を見る

度に気になっていました

が、今回もまばらの傍聴

者でした。

今は、情報化社会、議

会の様子や結果を知る機

間の二者による質疑応答

形式の協議に魅力を感じ

ない人が増加しているの

かも知れません。政治は

なれをよく耳にする昨今、

少し心配です。

「百聞は一見に如かず」

経験のない人は、是非体

験してみてください。

「町民の声」を
お寄せ下さい



ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲

載の締切りは8月末で

す。

投書多数の場合は、

委員会で掲載文を決定

させていただきます。

あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず
名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】

松前町筒井631

議会広報常任委員会「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail

500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っております。また、議会終了後、録画配信も行っております。ご覧ください。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(次回は8月下旬〜9月上旬の予定です。)





松前町で生きる & みんなで支える

松前町女性消防団は今日も元気に防災活動を！



団員募集中！



皆さん、お忙しい中
12人中、4人の方に
集まってもらいました

★女性ならではの活躍にエールを送ります。

Q この女性消防団の発足から今までを、お聞かせください。

A 発足は平成15年4月で、14年の間に入れ替わりもあって、現在40代後半の平均年齢で頑張っています。

Q 主な活動は

A 救急救命指導補助や防災広報です。

Q すでに14年の歴史がありますが、輝かしい実績もあるとか...

A 平成23年の全国操法大会において8位入賞で表彰されました。

Q これからの活動に何か思いがありますか。

A 高齢者や子どもさんたちに関心を持って防災をわかりやすく広めたい。例えば、紙芝居とかで...



まちの話題

資源回収で地域の絆を

徳丸 地域では平成24年度より、他の地域の方法を参考に、集団回収に取り組みを始めた。

◆月に一度雑誌、新聞、段ボール、缶など、集会所に持ちより、環境部、各組の環境委員が交代で分別作業を行っている。

◆最初のうちは、集まる量も少ない感じがあった。会合や、回覧板での周知や、有線での告知を行ない、最近では、回収量も多くなった。

◆集団回収を通して地域のコミュニケーションの場となった。

◆資源の大切さを肌で感じるようになり、より一層地域の繋がりが図れた。

★これからも集団回収を通して、地域の絆を図っていききたい。



環境部長 弓立光貞氏

編集後記

本年三月に「松前町公共施設等総合管理計画」が発表された。

高度成長期に整備された多数の公共施設やインフラの維持管理が、人口減少の進むこれからの時代には、ますます難しくなってくることを示している。

「進める勇氣」
「立ち止まる勇氣」
私たち議員も将来を見据えた的確な判断をしていく時期に来ているのではないだろうか。
(住田 英次)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 八東 正 |
| 副委員長 | 藤岡 緑 |
| 委員 | 稲田 輝宏 |
| 委員 | 影岡 俊範 |
| 委員 | 金澤 浩 |
| 委員 | 田中 周作 |
| 委員 | 住田 英次 |



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。